

ちょっとした、得する！耳寄り情報

Vol.12

# てんこもり



発行：丸ス産業株式会社 「てんこもり」編集部  
TEL：0574-72-1318 FAX：0574-72-2739

てんこもりは、ぎふ清流国体、ぎふ清流大会、第30回全国豊かな海づくり大会の成功を願っています！



岐国体  
- 公0067



## メニューその1 清流がつなぐ 未来の海づくり

平成22年6月12日(土)～13日(日)に開催される《第30回全国豊かな海づくり大会》ぎふ長良川大会のメイン会場となる関市では着々と準備が進められています。そこで今回は、関市全国豊かな海づくり大会推進室の山岡透主任主査と渡辺活広主査に取材をさせていただきました。



まず、お二人から「なぜ関市で海づくり大会が開催されるか」が重要なことですよ！

それは、「関市は日本の人口重心地があり、市全体の81%を森林が占め、清流長良川をはじめ板取川、津保川、武儀川などの河川が流れる豊かな自然に恵まれたところなんです。これまでも山や川を守る活動を行ってききましたが、この大会では、山や川と暮らす人々も海のことを考え、《森・川・海が一体となった自然環境保全》という重要なメッセージを、次世代を担う子どもたちが主役となって、関市から発信します！」とのこと。今回河川を舞台に全国豊かな海づくり大会が初めてだそうなのは、岐阜県が初めてだそうです。主なイベントとしては、5月22日(土)「和の祭典」(午後6時～午後9時) (雨天延期)

## メニューその2 おいしいお店 紹介します！

おいしいお店1件目は、4月オープン、割烹料理「かも」さんです。お店は、若店長さんこだわりの造りになっていて、特に古民家の使わなくなった戸や梁をもらい、お店の一部として組み込んでいます。料理は昼と夜の部に分かれていて、昼の部は主にランチ(5月より開始)、夜の部は居酒屋メニューとなっています。その他、季節の鍋、うなぎ、すっぽん(要予約)も食べられますよ！すっぽんは、予約されますと特別席にてお食事ができることなんです。掘りごたつ席もあり、また20人程度の宴会も可能との事です。若店長さんとはとても気さくな方で、お客様のニーズに合わせて出来る限りの要望に応えてくれるとの事です。



懐石料理は要予約です  
食道「やま」関市下有知1  
87 0575(24)222  
by 島崎・三品

海づくり大会の開催と市制60周年(合併5周年)を記念して、1万人規模の提灯行列と花火大会が開催されます。和装による参加大歓迎だそうですよ。花火大会は関市下有知地内において市初の尺玉の打上げやスターマインなどを予定しているそうです。海づくり大会の当日は、関市本町を中心に「せき海づくりフェスタ」が開催されます。テーマゾーン・まちおこしゾーン・おもてなしゾーン・その他市内で各種イベント多数あるそうです。《清流がつなぐ未来の海づくり》山と暮らす私たちの手では是非成功させようではありませんか！ by 藤井



おいしいお店2件目は、食道「やま」です。大きなケヤキの木が目印のお店でした。店内は、大きな梁が印象的なカウンターとお座敷、それにご主人手作りの「かまど」が、和の雰囲気を出し落ち着いた空間でした。予約をせず伺ったのですが、創作懐石料理を中心に、繊細な味覚で心も満たしてくれるコースでした。これには、気さくなご主人と奥さんの心を感じました。皆さんも、是非一度足を運んでください。ちなみに、懐石料理は要予約です



懐石料理は要予約です  
食道「やま」関市下有知1  
87 0575(24)222  
by 島崎・三品



ユースの3メソッド

歴史ある 疏水を訪ねて

現在、中濃地区を代表する「曾代用水」で水利保全対策が行われています。今回はその「曾代用水」の歴史について紹介させていただきます。

曾代用水は、美濃市・関市にまたがり水路延長17km、受益面積1027haに及ぶ疏水です。美濃市保木脇地内の長良川左岸から取水され、最大9.15t毎秒の取水権を保有しておられるそうです。曾代用水の歴史は古く、江戸時代寛文年間（1661年）1672年にさかのぼります。寛文往時は長良川の河床が低かった為、河川からの取水が困難で、毎年干ばつの被害が絶えなかつたようです。また、複数の藩にまたがった地域である為、統一した灌漑施設建設は行い難い情勢もあつたようです。こうした時代背景の中、貧困にあえぐ住民を救うべく、広大な山林原野を開墾する困難な事業に立ち上がった3人の先達がいました。



曾代用水完成

曾代用水施工前

喜田喜江衛門・林幽閑喜田の弟・柴山伊兵衛の3氏です。3氏は時の尾張藩を始めとする各藩との協議や、各村との交渉を進め、寛文6年春に各領主の免許を得る事に成功します。またこの間、測量・土地の買収・家屋の立退き・架橋工事の計画を進め、寛文7年3月によりやく起工式を挙げる事となります。工事は、長良川左岸の通称立ヶ岩の掘削から始まり、寛文9年6月迄に13kmの幹線水路と、12kmの支線水路を新設し、更に悪水停滞地に1.6kmの排水路を開設しました。この費用は5000両に上り、他に補償費として555両が費やされました。（この費用は、3氏が私費を投じて工面したとの事です。当時この様な用水事業が完成した事は全国的にも目珍しく、先達の偉業が偲ばれます。）その後、幾多の困難を先人達の努力でのりこえ、地域の産業と

文化を育む疏水として、今日も地域の人々に親しまれています。末筆ではありますが、快く今回の資料提供等に便宜を図っていただきました「曾代用水土地改良区」山田安彦理事長を始めとする事務局の方々に厚く御礼申し上げます。補修に携わる者として、こうした疏水を守って行くことは、先達の思いを未来へつないでいく事だと、気もちを新たにしました。 by 安江

ユースの4メソッド

「森の楽園」の紹介

揖斐農林事務所 林業課の技術課長補佐・村井和広様に、揖斐郡内の森の楽園について紹介をいただきました。3つの森の楽園があるそうです。1つめの「城山さくらの森」は、旧揖斐川町北西部の北方地区、国道303号からすぐ近くにあり、平成12年に開園され、区域面積は20ha。ここから南方へは濃尾平野が広がり揖斐川の流れ



城山さくらの森

や、遠く名古屋の市街地も眺めることができます。桜の名所としても有名なで、30品種、2000本を超える桜は、例年ですと3月中旬から4月下旬にかけてが見頃だそうです。区域内には、馬頭観音や道祖神も祀られており散策しても楽しいそうです。村井様は四季にわたりこの楽園の風景をおさめようと、カメラ片手に足を運ばれるそうです。2つめの「池田の森」は、池田町の西端に位置する池田山の東側にあります。昭和57年に開園され、区域面積は103ha。区域内に東海自然歩道がある他、隣接して「ナツツバキの森」が整備されています。時間が無い方は、山頂付近まで車で行くこともできるので、気軽に楽しめるそうです。ここからの眺望はすばらしく、全国でも屈指のハンググライダーの発進基地が整備されています。3つめの「いび高原坂内の森」は旧坂内村南東端の坂本地区にあり、平成4年に開園され、区域面積65ha。隣接した「ふれあいの



森」は岐阜市と旧坂内村が提携して整備したもので、コテージやバンガローがあり夏はバーベキューなどで賑わいます。標高1,234mの貝月山への山道も整備されていますが、かなりの健脚コースですが、紹介いただきました村井様に感謝します。是非、皆様も足を運んでみてはいかがでしょうか。 by 藤井

今回の「てんこもり」いかがでしたでしょうか？今回私達が、最近気になった事や楽しかった事、ちょっと得しそうな事等を紹介させて頂きました。また読者の皆様からも、色々なニュースの紹介をお待ちしております。（自慢話、おいしい・楽しいスポット紹介、サークル紹介等どんなことでも結構です！写真をつけてくだされば最高です！こちらまでご連絡下さい。丸又産業株式会社「てんこもり」編集部 責任者 藤井 TEL 0574-72-1318 FAX 0574-72-2739 s-fujii@marusu21.co.jp



今回の「てんこもり」いかがでしたでしょうか？今回私達が、最近気になった事や楽しかった事、ちょっと得しそうな事等を紹介させて頂きました。また読者の皆様からも、色々なニュースの紹介をお待ちしております。（自慢話、おいしい・楽しいスポット紹介、サークル紹介等どんなことでも結構です！写真をつけてくだされば最高です！こちらまでご連絡下さい。丸又産業株式会社「てんこもり」編集部 責任者 藤井 TEL 0574-72-1318 FAX 0574-72-2739 s-fujii@marusu21.co.jp